

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 2月 5日

公表: 令和 2年 3月 10日

事業所名 江南市立わかさ園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数の多い日はスペースに余裕がないため、活動によりついでに位置を変えたり、2グループに分けて交代で行ったりしている	
	2 職員の配置数は適切である	○		利用人数の多い日は、担任の他に、園長・園長代理も療育に入っている	利用人数の多い日や、動きの大きい児が複数の場合にも、個々への対応が十分できるよう配慮する
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		各クラス視界の配慮等の工夫をしている 靴箱前の花壇を撤去して広くした	出入り口のバリアフリー化はしているが、肢体不自由児が生活するには多少の段差があり、十分とは言えないので改善していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		園庭や部屋の掃除、玩具の消毒等、行っている 余分な物は置かず、パーテーションを活用する等、活動に合わせた空間を確保している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全職員で活動の計画・実行・振り返りを行い、確認し合っている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者にアンケートを配り、保護者からの意向を把握し、全職員で改善に向けて話し合っている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			アンケートの調査結果および事業所の自己評価をホームページで公開している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、必要に応じて検討する
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		様々な内容の研修に参加し、研修報告も行っている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		家庭訪問や個別懇談において聞き取りを十分に行い、保護者の思いを受け止め、子どもの発達段階に合わせた内容の計画を作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールを使用しているが、より保護者の願い・子どもの状況等を把握しやすいように、今後様式の見直しを行う
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		全職員で支援内容について検討し、具体的に設定されているか確認している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿った支援を行っている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全職員で共通理解して行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員で話し合い、いろいろな活動を取り入れている	利用者のニーズを考慮しながら、定期的に新しい活動を取り入れていく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		一人一人の特性を把握し、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成している	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		一日の流れを確かめ合い、不都合や不備のないよう、役割分担も明確にしている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援の振り返りを行い、個別に配慮が必要な点など、必ず全職員で共有している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の様子は個別に記録し、今後の支援につなげている	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		個別懇談を行い、定期的に計画の見直しを行っている		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理者と園長が会議に参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センター、保育課等と必要に応じて連携をとっている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		サービス担当者会議で情報を共有している母子通園であるため、基本的には保護者の判断のもと、連携がとれるようにしている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		担当者会議で情報を共有している緊急時は保護者の判断のもと、適切に対応する	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育所においては巡回相談、療育支援事業を通して子どもに必要な支援の検討を行い、情報を共有している就園の際には保護者の同意のもと、子どもの様子等伝えている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		小学校との間では、保護者の同意のもと、教育課発達支援員を通して情報の提供はしている	特別支援学校については保護者の同意が得られれば必要に応じて情報共有を図っていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地域療育支援事業・巡回相談の場で助言を受けている 近隣市町の児童発達支援事業所との交流会に年4回参加し、療育の参考にしている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		保育園見学の機会をつくり職員も同行している 保育園の交流会や園庭解放に関する情報は提供している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		自園の療育支援として必要であれば、検討していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別懇談やクラス懇談、日々の関わりのなかから、共通理解を図っている	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		家族支援として家族教室を開催している	家族支援プログラムについて、職員で園内研修を行い、理解を深めたくて保護者支援につなげていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入園前、契約時に説明をしている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別懇談を行い、丁寧に説明をし、同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に懇談を行うほか、必要に応じて相談の場をつくるようにしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		家族教室や親子分離時に保護者同士の交流の時間をつくっている OB保護者と交流する機会も設けている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談の申入れがあった場合は、全職員で対応の仕方を検討し、面談の場を設けている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、園便り・個別の予定表等を発行している 必要に応じて掲示板にて情報を伝えている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が含まれる書類は鍵付き保管庫にて管理している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードやベルの音で知らせる等工夫している プライバシーに配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	運動会に地区長を招待する等はしている	プライバシー保護の観点から難しい面がある保護者の理解を得ながら進める

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	保護者の方へは重要事項説明書にて説明するとともに、不審者対応訓練も月1回行っている	感染症対応は職員のみで実施しているため、今後様々な想定での訓練を行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	月1回親子とともに避難訓練を行っている 年2回消火器を使って消火訓練も行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	入園前に、保護者に確認をしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		本年度対象児はいないが、除去の必要な児においては、医者からの指示書のコピーを保管し、適切な対応をする
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	事例はその都度記録し、全職員でカンファレンスを行い、共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	見守りが必要な児においては、職員間で十分に注意して状況把握するとともに、他機関への連携も取れるようにしている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現時点では身体拘束を行う必要のある子はおらず、特に説明・計画にも記載はしていない

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。